



# 大好き いばらき



平成25年3月11日に、茨城県三の丸庁舎において、東日本大震災犠牲者追憶と家族・地域の絆づくり運動として開催された「大好き いばらき キャンドルナイト」

## CONTENTS

●平成24年度 大好き いばらき 県民運動 表彰式	… 2・3
●タスクフォースによる県民運動の課題への取り組み	… 4・5
●第14回花いっぱい運動のつどい	… 6
●子育て応援イベント	… 7
●2012年 大好き いばらき週間	… 7
●平成24年度 ネットワーカー活動推進大会	… 8・9
●コミュニティ協働事業	… 10
●第13回「いばらき教育の日」推進大会	… 11
●生活学校運動大会	… 11
●Information	… 12

## 大好き いばらき 県民運動

福祉社会づくり 生活環境づくり  
人づくり 茨城の風土づくり

各地域で行われている青少年育成・  
福祉・生活環境など、さまざまな分野  
での活動を、県民や団体、企業、行政  
が手をつないで支えあい、やさしさ  
とふれあいのある茨城を創っていく  
運動、それが「大好き いばらき 県民  
運動」です。

## 第40回 花と緑の環境美化 コンクール

11月15日(木), 水戸市のフェリベルサンシャインにおいて、「大好き いばらき 県民運動表彰式」を開催しました。

茨城県及び大好き いばらき 県民会議では、地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高め、花いっぱい運動を推進すること目的に「花と緑の環境美化コンクール」を実施しています。

10回目を迎えた今年度は、810の団体・学校の参加があり、厳正な審査で選考された72団体が表彰されました。

# 平成24年度 大好き いばらき



### 茨城県知事賞



**【フラワーロードの部】**  
川尻むつみ会（八千代町）



**【地域の部】**  
深見自治会（筑西市）



**【団体・職場の部】**  
延方生活学校（潮来市）



**【学校の部】**  
笠間市立北川根小学校



**【学校の部】**  
常陸太田市立幸久小学校



**【学校の部】**  
鉾田市立大竹小学校



**【学校の部】**  
かすみがうら市立上佐谷小学校



**【学校の部】**  
五霞町立五霞西小学校

● 審査講評

中央審査委員長 岡田三美

- 今季は、連日の猛暑の影響に加え、8月の降水量が、平常と比べ、少なかったことから、花壇づくりは、例年にもまして、ご苦労があったと思いますが、中央審査に合わせて、立派な花を咲かせて下さった皆様に、敬意を表する次第です。
- 花壇を引き立たせる重要なポイントは、まず、メインとなる花壇をはっきりさせることです。次に配色や配図を工夫すること、そして花に合った花壇の管理をすることです。
- 花づくりは人づくり、そして地域づくりです。花いっぱい運動を通して、「やさしさとふれあいのある茨城づくり」の輪が県内全域にますます広がっていくことをご期待申し上げます。

**【応募数】**

フラワーロードの部	39
地域の部	396
団体・職場の部	102
学校の部	273
合計	810

**【表彰団体数】**

茨城県知事賞	8団体
茨城県議会議長賞	7団体
茨城県教育委員会教育長賞	8団体
茨城新聞社長賞	8団体
茨城県花き園芸協会長賞	8団体
茨城県造園建設業協会長賞	8団体
大好き いばらき 県民会議 理事長賞	25団体

# 県民運動 表彰式



茨城県知事賞



小学校低学年の部  
大好きなまち  
くらさわ ゆうじん  
筑西市立小栗小学校 黒沢 優心さん



小学校高学年の部  
茨城の家・未来の家  
のつり にいつや  
下妻市立勝波ノ江小学校 粟野 達也さん



高等学校の部  
未来のために、語り継ぐ  
まくわ ほおぐ  
県立茨城東高等学校 堀 直樹さん

中学校の部 実り豊かな茨城の農業 常総市立水海道西中学校 成富 友紀恵さん ※当日は欠席されました。

●	審査講評
●	審査委員長 茨城大学教育学部教授 川嶋秀之
●	今年度は、応募数が昨年を500件ほど上回り、これまでで、最多となりました。昨年にくらべて特に増加したのが自然に関するものです。震災をきっかけに、茨城県の自然を見直し、それが誇るべき宝であることに気づいたためでしょうか。作文の中で、自然に関する関心が、これほど高まったのは、かつてなかったことです。
●	県知事賞を受賞した各作品では、人に寄せる温かい気持ちと町への誇り、常識にしばられない思考、出植えをきっかけとした茨城の農業の未来への思い、語り継ぐことの大切さなどがよく表現していました。

## 第23回 大好きいばらき 作文コンクール

大好きいばらき県民会議では、東日本大震災の経験をふまえ、未来を担う子どもたちに、自分自身を見つめなおし自分の将来について考えるとともに、地域の魅力を再確認しながら10年後、20年後の茨城を想像してもらうため、「いばらきの未来、私の夢」をテーマに作文を募集しました。

23回目を迎えた今年度は、501校から過去最多となる9,488件の応募があり、厳正な審査で選考された51作品を表彰しました。



高等学校の部  
未来のために、語り継ぐ  
まくわ ほおぐ  
県立茨城東高等学校 堀 直樹さん

【応募数】	
小学校低学年の部	947
小学校高学年の部	3,324
中学校の部	4,920
高等学校の部	297
合計	9,488

【表彰者数】	
茨城県知事賞	4名
茨城県議会議長賞	4名
茨城県教育委員会教育長賞	4名
茨城新聞社長賞	4名
大好きいばらき県民会議理事長賞	35名

# タスク・フォースによる 県民運動の課題への取組み

今年度は、早急に取り組む必要のある県民運動の5つの課題に対し、県民運動推進委員が部会横断的に集まってタスク・フォースを結成し、課題解決に取り組みました。

## 1 ふるさと自慢（大好き いばらき ふるさと自慢大会、ふるさと自慢発掘事業）

茨城県と大好き いばらき 県民会議では、茨城のイメージアップ及び県民の郷土に対する愛着や誇りを高めるため、本県の隠れた魅力の発掘と紹介を行う、「ふるさと自慢発掘事業」や、ふるさとの魅力について実演を通して発表する、「大好き いばらき ふるさと自慢大会」の開催などを行いました。

ふるさと自慢発掘事業では、県内21箇所のふるさと自慢を取りました。取材したふるさと自慢の内容は、大好き いばらき 県民会議のホームページ及び冊子で紹介する予定ですので、お楽しみに。

ふるさと自慢大会は、平成24年11月4日(日)に笠間芸術の森公園で開かれた復興いばらき県民まつり2012において開催しました。

大会では、下妻が生んだアイドル「しもんchu」が進行を盛り上げ、公益財団法人合気会茨城支部道場の皆さんの演武、茨城県立岩瀬高等学校による謡曲「桜川」、ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会による「三浜盆踊り」、やまがた御城太鼓の会の「御城太鼓」が披露されました。



大場所と一緒に踊る「三浜盆踊り」



進行を盛り上げた下妻が生んだ  
アイドル「しもんchu」

## 2 交流サルーンいばらき

大好き いばらき 県民会議が運営する交流サルーンいばらきは、環境や福祉、町づくりなど、様々な市民活動に利用できる多機能オープンスペースです。



交流サルーンいばらき再開を記念して



再開記念交流会の様子

交流サルーンいばらきは、平成11年11月11日から茨城県三の丸庁舎において、NPO等に関する情報の収集や提供、交流の場の提供、活動に必要な設備、機器の使用、相談業務などを実施してきました。東日本大震災により茨城県三の丸庁舎が被災し、交流サルーンいばらきも長らく休館していましたが、耐震改修工事等の終了に伴い、2012年12月12日(水)12時12分に再開しました。

再開するにあたっては、交流サルーンいばらきのタスク・フォースにより、NPOの支援の強化や他の支援施設との連携を含め、地域活動をさらに支援できるよう、サービス内容の検討を重ね、その提案を基にNPO向け交流会や講座の開催等を行うこととし、新たな交流サルーンいばらきとして、再開しました。

これからも、みなさんの団体の活動や交流の場として、是非ご活用ください。

### 交流サルーンいばらき 新たなサービス内容一覧

- NPO向け交流会や講座の開催
- NPO法人情報の開示
- NPO法人設立等の相談
- 印刷機の貸出(有料)
- 紙折機・丁合機の貸出
- パソコン＆プリンターの貸出
- 大判印刷機の貸出(有料)
- コピー機の貸出(有料)
- 会議室の提供
- フリースペースの使用
- メールボックスの貸出
- 県内・県外のNPOやボランティア関連情報、県内行政情報や市町村広報紙閲覧コーナー
- 掲示スペースの提供
- 用紙の販売
- 参考図書の提供

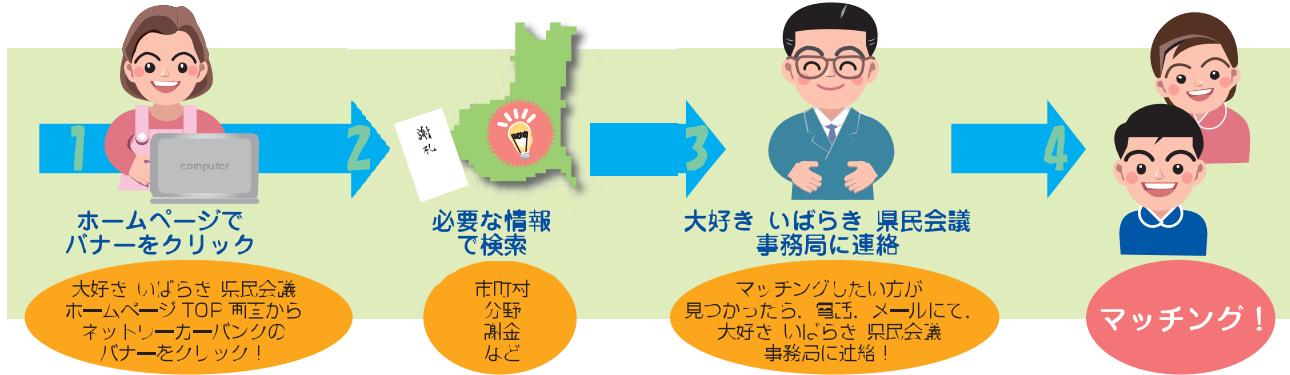
また、12月12日には、再開記念イベントと再開記念交流会を行い、新たな交流サルーンいばらきの門出を祝いました。

### 3 ネットワーカーバンク

ネットワーカーバンク ホームページ  
[http://www.daisuki-ibaraki.jp/network/networker\\_bank.html](http://www.daisuki-ibaraki.jp/network/networker_bank.html)

ネットワーカーの地域活動内容や関係団体等を登録し、情報提供を行うことにより、地域活動者や団体のネットワーク化を促進できるようネットワーカーバンク（人材バンク）をホームページ上に公開しました。

#### ●ネットワーカーバンクの使い方●



### 4 家族・地域の絆づくり

茨城県にも甚大な被害をもたらした東日本大震災のうち、家族・地域の絆を大切にしようという気運が高まっています。

大好き いばらき 県民会議では、家族・地域の語らいの場づくりの呼びかけや、絆の見直しの機会など家族・地域の絆を深める県民運動として、「家族・地域の絆づくり運動」を行いました。

「家族・地域の絆づくり運動登録事業」では、趣旨の同じ事業をホームページに登録し、県内外に情報提供を行いました。また、「大好き いばらき フォト&メッセージ」では、家族や地域の絆を深めた場面の写真にメッセージを添えて応募していただきました。さらに、水戸市三の丸庁舎において、3月11日(月)に「大好き いばらき キャンドルナイト」を開催しました。

家族・地域の絆づくり運動 ホームページ  
<http://www.daisuki-ibaraki.jp/kenminundo-kizuna.html>

フォト&メッセージ ホームページ  
<http://www.daisuki-ibaraki.jp/photomessage.html>

3月11Hに開催したキャンドルナイトでは、三の丸庁舎に置かれた約440ものキャンドルの灯のもと、合唱や朗誦を行い、家族・地域の絆の再確認や東日本大震災の犠牲者の追悼と復興の祈念を行ったところ、約150名の参加がありました。



### 5 災害に強いまちづくりの推進

災害に強いまちづくりの推進は、ご近所の底力バンクに登録された団体やNPO、地域活動団体、行政などが、日頃から感じている課題や改善に向けた話し合いによって、地域の課題解決や震災からの復興、災害に強いまちづくりを目的とするものです。3月11日(月)には、団体間のネットワークの構築や地域の課題解決のため「平成24年度地域活動団体を元気にするための交流会」を開催しました。



交流会では、守谷の地域防災に積極的に取り組まれている、守谷市市民活動支援センターの高木保氏による事例発表やユニベルシタスつくば代表の徳田太郎氏をファシリテーターとして、「地域の防災力を高めよう」と「水辺の環境を保全しよう」をテーマとしたワールド・カフェを開催し、県内各地のNPO、団体等に所属する35名の参加者により、実践者の立場から活発な意見交換が行われました。

#### ●[ご近所の底力バンクとは]

地域の課題解決に取り組む団体を登録し、各種の情報提供や地域活動を支援することで、地域活動団体間のネットワークの強化や地域コミュニティの活性化を推進する仕組みです。

第14回

平成24年度 花いっぱい運動定着化促進事業

# 花いっぱい運動のつどい

大好き いばらき 県民会議と(公財)げんでん ふれあい茨城財団では、花と緑でやすらぎと潤いのある地域をつくる活動が、さらに普及、定着化することを目指し、「花いっぱい運動定着化促進事業」を実施しています。

平成24年11月10日(土),水戸市植物公園において「第14回花いっぱい運動のつどい」を開催しました。

この集いでは、花いっぱい運動に継続して取り組み、定着化に努力されている団体や学校へ支援認定書の交付を行いました。また、集いを通して、花づくりに取り組む団体の皆様の交流と親睦を深めていただくとともに、花づくりへのアドバイスや意見交換、水戸市植物公園園長西川綾子氏による講話などを行いました。



認定証交付式



認定花壇  
看板の贈呈



認定証交付式

## 講師紹介

水戸市植物公園 園長

西川 綾子氏



東京都出身

筑波大学農林学類で花卉園芸学を専攻

水戸市植物公園開園時(昭和62年)より勤務。現在園長として活動するかたわら、

NHKテレビの「趣味の園芸」の講師や各地での植物・園芸に関する講演、花壇づくりなど精力的な活動を行なっています。

## 花いっぱい運動定着化促進事業支援団体一覧

### 【団体の部】

- 金谷町花談倶楽部(水戸市)
- 新一里塚町内会(水戸市)
- 旭台子ども会(笠置市)
- あすなろ(山方)(常陸大宮市)
- 新高浜会館運営委員会(新高浜常会・中道常会)(小美玉市)
- 介護老人保健施設かすみがうら園芸クラブ(行方市)
- 土浦市並木一丁目健康クラブ(土浦市)
- 新道女性の会(取手市)
- 土浦老人クラブ(美浦村)
- 信太みどりの会(美浦村)
- 馬見山花の会(美浦村)
- 長須交通安全母の会(坂東市)
- 岩井グリーンランドフラワー友の会(坂東市)

### 【学校の部】

- 水戸市立内原小学校
- 水戸市立柳河小学校
- 水戸市立国田小学校
- 笠間市立南中学校
- 常陸大宮市立御前山小学校
- 小美玉市立玉里北小学校
- 正美幼稚園(茨城県)
- 日立市立豊浦小学校
- 日立市立助川小学校
- 鉾田市立当間小学校
- 牛久市立中根小学校
- つくば市立田井小学校
- かすみがうら市立七会小学校



# 子育て応援イベント

## ～地域みんなで子育て、孫育て～

核家族化により、地域のつながりが希薄になっている現代。幼い子どもを持つ家庭では、子育ての不安を抱える人が少なくありません。家族間だけでなく、地域みんなと一緒に子育てを応援しましょう。



今回結成された、ふれあい交流イベント実行委員会（境町ネットワーカー等連絡協議会、ほか境町で活動中の計8団体）、境町、及び大好き いばらき 県民会議が連携し、11月12日（月）、境町のふれあいの里子育て支援センターにて「子育て応援イベント」を開催しました。

「地域みんなで子育て、孫育て」をテーマに、講師の沼尻祐子さんによるふれあい体操で、大人も子どもも思い切り体を動かした後は、実行委員会メンバーが作った、地元産の野菜料理・おにぎり・お茶などをおいしく頂きながら、子育ての情報交換を行いました。

140名が参加したこのイベントは、境町以外からの参加も多くみられ、参加者からは、「子どもと体操する機会がなかったので楽しかった。」「食事がおいしくて楽しかった。」などの声が聞かれました。



# 大好き いばらき週間

2012年  
11月7日(水)  
～13日(火)

茨城県では、平成21年度から、毎年11月7日～13日を「大好き いばらき週間」として、県民の皆さんに、より一層「いばらき」を好きになっていただくため、県内各地で様々なイベントを行っています。大好き いばらき 県民会議においても、大好き いばらき週間の期間中、県内各地で県民運動を展開しました。

本年度は、各市町村ネットワーカー等連絡協議会により、あいさつ・声かけ運動や震災への支援、ふれあいパーティーなどの県民運動を各地で展開した他、インターネットテレビ『いばキラTV』において、ネットワーカーが生放送で『大好きいばらきふるさと自慢特集』に出演し、各地のふるさと自慢を行いました。



### 『いばキラTV』で紹介した各地のふるさと自慢

下妻市	「タバンカ祭り」・「ボビー大福」
那珂市	つるしひな制作を通じた地域活動活性化
取手市	「小堀の渡し」・「日取宿本陣染野家住宅」
八千代町	「白菜キムチ鍋」と「白菜メンチカツ」 「やちよ乃湯」
常陸太田市	「根岸のため池」

いばキラTVのHP <http://www.ibakira.tv>

### 大好き いばらき週間中の県内ネットワーカーによる県民運動

結城市ネットワーカー等連絡協議会	朝の「あいさつ・声かけ運動」	筑西市ネットワーカー協議会	関城支部：あいさつ・声かけ運動
ネットワーカー常総市	軽トラ市	協和支部：あいさつ・声かけ運動	
大好き北茨城ネットワーカー協議会	大好きいばらき週間啓発事業	下館支部：環境美化運動	
牛久市ネットワーカー連絡協議会	ふれあいパーティー	明野支部：環境美化運動	
守谷市ネットワーカー連絡協議会	守谷市の小学生による 「こども新聞」の発表を支援	境町ネットワーカー等連絡協議会	子育て応援イベント
常陸大宮市ネットワーカー協議会	親水公園清掃	利根町ネットワーカー協議会	利根川桜づつみ清掃作業
		ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会	あいさつ・声かけ運動

# 平成24年度 大好きいばらきネットワーカー等活動推進大会



大好きいばらき  
県民運動を地域で支える

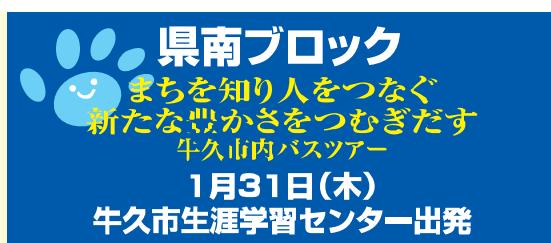
県内各地で地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている「大好きいばらき ネットワーカー（県民運動地域推進員）」等が集い、県民運動を推進するとともに、各種地域活動団体との交流を図るため、ネットワーカー等活動推進大会を開催しました。



県内ネットワーカーが一堂に会し、全県大会を開催しました。

安寿琴の会の大正琴演奏のアトラクションに続き、札幌市立大学理事長・学長の蓮見孝先生と茨城大学生涯学習教育研究センター准教授の長谷川幸介先生により「まちを知り人をつなぐ 新たな豊かさをつむぎだす」をテーマに対談が行われました。

その後は、ネットワーカーが水郷の良さを発見するため、水郷の街中を散策し、撮影した写真を基にするなどして、発見したことを発表し、ネットワーカーの役割の再認識やまちの良さの再発見について意見交換を行いました。



今までにないブロック大会を開催したいとの趣旨で企画された牛久市内バスツアーは、参加者が予想を上回り、バス6台を連ねての見学となりました。

牛久生涯学習センターを出発し、牛久沼では徒歩でかっぱの小径などを散策。小川芦戻のお孫さんの末太郎氏の案内でカッパの碑や雲魚亭などを巡りました。親睦を兼ねた昼食会の後、ヤマイチ味噌での工場見学や試食・買い物を楽しみ、その後牛久大仏を見学しました。

参加者は、知っていそうで案外訪れる機会の少ない地元の名所を楽しく廻り、まちの魅力を再発見できたブロック大会となりました。





## 県北ブロック

まちを知り人をつなぐ  
新たな豊かさをつむぎだす

2月28日(木)

北茨城市ふれあいセンター

「ようそろーよさこい連」の開会セレモニーで始まった大会では、東京大学の中川聰特任教授と、いたいばらき文化と観光の再興によるまちづくり協議会の谷田部智章氏を招き、2題の講演が行われました。中川教授の「震災後のリデザインについて」では、風土の遺産の伝承や創造が大切であること、谷田部氏の「映画『天心』とまちづくり」の講演では、地元の魅力をまちづくりに活かそうとの提言があり、震災後の活動のありかたについて研鑽を深めました。



## 県央ブロック

地域コミュニティの活性化  
～世代越え みんなでつくろう 地域の輪～

10月13日(土)

東海村村松コミュニティセンター

ジャーナリスト楽校inこだいら運営委員の神山伸一氏を招き、基調講演『情報発信をとおして地域活性化を!』を行い、ブルーベリーでのまちおこしによる地域活性化の経験、PRのテクニックの重要性などを学びました。

その後、参加者60名が5グループに分かれ、『ネットワーカーとして今日からできること』をテーマに分散会を行い、意見交換を行いました。



## 鹿行ブロック

「さらに地域の絆を深めよう」  
～てをとりあって三世代交流～

1月19日(土)

神栖市中央公民館

田畠獅子舞保存会・軽野小学校5年児童による「さざら舞」のオープニングアトラクションに続き、潮来市ネットワーカー連絡協議会、ネットワーカーかしま、ネットワーカーかみすの活動紹介を行いました。

続いて茨城大学生涯学習教育研究センターの長谷川幸介准教授が「無縁社会に立ち向かう」をテーマに基調講演を行い、その後、神栖市市民協働課の小森氏のファシリテーションで、さらに地域の絆を深める取り組みについてグループ討論を行いました。



## 県西ブロック

地域をつなげる活動

1月26日(土)

五霞町中央公民館

今回のテーマにちなみ、鳥取県米子市のNPO法人夢蔵プロジェクト事務局長の中中国彦氏を招き、「地域をつなげる活動～下町発の小さなまちづくり～」と題した事例発表が行われました。活動報告では、下妻市、吉河市、境町、筑西市の4グループが地域に即した独自性あふれる活動を紹介しました。

また、オープニングアトラクションには、ソプラノ歌手中崎千恵子氏と、よさこい五霞愛好会のご協力がありました。



# 平成24年度 コミュニティ協働事業

本事業は、市民、企業、NPO等の多様な担い手（マルチステークホルダー）からなる「新しい公共」の仕組みづくりを推進するとともに、「地域の課題は地域で解決する」、「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」という、自主的・主体的な取り組みをより一層活性化させるため、地域の諸課題解決に向け地域活動団体同士が協働で取り組む事業を支援することにより、団体同士のネットワークの強化と地域の活性化を図るもので

## LOVE TRAIN 常総 ～友達からでも 良いですか～



2月9日(土)、守谷市のウェディングヒルズ アジユールにおいて、「LOVE TRAIN 常総」が開催されました。

地域人口の増加や地域活性化を目指し、常総線沿線のネットワーカー等連絡協議会(守谷・下妻・常総・取手・つくばみらい・やわら・八千代)が連携しながら、多くのカップルが成立することを願い、未婚男女の出会いの場を創設しました。

男性31名、女性26名が参加したこのイベントでは、女性には女子力をアップさせる「エレガントレッスン教室」を、男性にはプレゼン力アップのための「男塾」を対面前に開催し、自己アピールの準備を整えました。



その後参加者は、ランチを楽しみながらのフリートークとなり、それぞれの新しい出会いを求めながら打ち解けた雰囲気の中で会話を交わし、めでたく9組のカップルが誕生しました。

イベントを支えた各ネットワーカー協議会も、互いに絆を深め、地域の連携が実を結ぶイベントとなりました。

## 古徳城跡と古徳沼周辺の 自然保護と再生



持続的な森林の保全活動を通じて、関東有数の山鳥の飛来地である那珂市静古徳沼周辺の自然保護と再生を目指し、いばらき森林クラブ那珂支部が主体となり、那珂歴史同好会など地元団体と連携しながら、案内看板設置や間伐などの環境整備活動を行なっています。

今後も、荒廃していた古徳城跡や土塁周辺の整備を行うほか、休憩用ベンチを設置し、下草刈りや間伐を実施して眺望を整え、古徳沼と古徳城跡、そして静古徳古道ハイキングロードを連動させる計画です。



手軽に来てハイキングが楽しめる、市街地に近接した林間の散策路として、四季折々多くの方が訪れる憩いの場にしたいと、各団体が連携して環境整備に努めています。



みんなで教育を考える  
第13回

## 「いばらき教育の日」 推進大会

茨城県は11月を教育月間、11月1日を「いばらき教育の日」と定め、県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して教育の充実と発展を図り、明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたつて地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めています。



11月1日(木)、県民文化センター大ホールにおいて第13回「いばらき教育の日」推進大会が開催されました。

大好き いばらき 県民会議が支援するこの大会では、優秀標語の表彰や普行表彰、優秀教員の表彰、青少年・企業人による提言、いじめ撲滅のための緊急アピールに続き、キャスター・エッセイストとして活躍するかたわら、子育ての経験を通して子育て支援のネットワークづくりに力を注ぐ浜尾朱美氏の記念講演が行われました。



### ■記念講演

未来を担う子どもたちのために  
～今こそ、家庭・学校・地域の力を合わせる時～

浜尾 朱美氏

徳島県生まれ。テレビ・ラジオ等で  
アナウンサーとして活躍。筑紫哲也  
「ニュース23」に出演。子育て支援の  
ネットワーク活動中。京都ノートルダム女子大学客員教授。



## 平成24年度 茨城県生活学校連絡会 運動大会

食と農を通したエコライフ運動の集い  
～地域に根ざした活動～

大好き いばらき 県民会議が活動を支援する生活学校は、各地域で、身近な生活課題を取り上げ、環境問題・高齢化社会への対応・子育て支援など、安全であり、安心に暮らせる地域社会の構築に取り組んできました。

ここ数年は、「もったいない」をキーワードにした3R運動を推進してきましたが、食に絡む課題がクローズアップされてきました。そこで、本年度のテーマは「食と農を通したエコライフ運動～地域に根ざした活動～」と掲げ、県内5地区で研修集会を開催し、課題解決に向けて研修し、実践してきました。



2月18日(月)、茨城県三の丸庁舎において平成24年度茨城県生活学校連絡会運動大会を開催しました。

大会では「食と農を通したエコライフ運動～地域に根ざした活動～」をテーマに、「食と農と養生と21世紀の暮らし」と題した茨城大学長谷川幸介先生の基調講演や県内5地区の研究集会報告、そして、5年間取り組んできた活動についてのワークショップでの話し合いが行われました。

### 平成24年度 「食を通じたエコライフ運動」研究集会 開催一覧

#### 1 県北地区

地元産の身近な食材でエコ料理

#### 2 県央地区

手作り健康食品(味噌・塩麹)を活用し、安心安全を目指す健康ライフ

#### 3 鹿行地区

地域に根ざした活動について考えてみよう  
～エコ生活を見直してみませんか！～

#### 4 県西地区

～地域に根ざした活動～  
地産地消・旬産旬消で省エネ

#### 5 県南地区

緑のカーテンや家庭菜園等の自家製、農作物を  
飽きずに、あまさず、美味しい食べける

# information

歴史薫る三の丸から元気を発信！

# ふれあいまつり

わくわく咲く、春の三の丸。

第12回 大好きいばらき

4/6 土 2013

【開催時間】  
10:00 ▶ 16:30

夜間営業エリアは20:00まで  
県立図書館専館時間9:00～17:00  
※雨天時は7日(日)に日程延

【会場】  
茨城県三の丸庁舎  
特設会場(水戸市三の丸)

ご当地グルメコーナー  
ふれあいひろば  
体験コーナー  
バザーコーナー

事前参加受付中！

**ふれあいウォーキング**  
三の丸周辺をウォーキング。  
水戸の史跡や商店街を巡り歩こう！

**ふれあいスタンプラリー**  
イベント会場周辺でスタンプをGet！  
ステキなノリゼントを当てよう！

**わくわく体験イベント**  
牛乳パック工作、苔遊び、パソコン遊びなど、  
楽しい体験してみよう！

ステージイベント

- 開会セレモニー
- 三の丸小学校吹奏楽部
- 水戸工業高校ジャズバンド部「BLUE BEGINNERS」
- 大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」
- ご当地アイドルなど

震災後の補修で懐かしい姿に戻った三の丸庁舎

県三の丸庁舎駐車場は、イベント当日は利用できません。

・「いばらき身障者用駐車場利用証」持参の方のみ、障害者用駐車場を利用できます。・県立図書館駐車場は、図書館利用者のみが利用できます。

ご来場の際は、市内循環バス等、公共交通機関をご利用下さい。



## 編集後記

年2回の発行体制になって3年目になりました。  
広報部会では毎回、紙面を楽しく、いろいろなことを伝えられるように話し合っています。限られた頁数ですが、みなさんお目通しください。  
(佐藤 伸記)

広報部会：照沼一美 市原裕子 安中雅代 栗原宇津  
後藤愛子 佐藤伸 中野治美 横須賀祥太郎



大好きいばらき 県民会議

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F  
TEL029-224-8120 FAX029-233-0030

大好きいばらき 県民会議では、皆様からの投稿記事、紙面へのご意見やご感想をお待ちしています。

URL <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>

E-mail [info@daisuki-ibaraki.jp](mailto:info@daisuki-ibaraki.jp)

ブログ <http://d.hatena.ne.jp/daisukiibaraki>